柳ケ瀬エリアプラットフォーム Vision Meeting Report #5

集まり、つながり、動き出す。

#1 7.15.Wed./ #2 8.19.Wed. / #3 9.16.Wed. / #4 10.7.Wed. / **#5 11.4.Wed.** / #6 12.2.Wed.

ビジョンミーティングとは

エリプラに関わる全ての人、事業者が参加できる広く開かれた場とし、事業会議での意見や取り組みを共有し、その他の専門的な事項も含めビジョンの方針、盛り込む内容を議論します。議論を深めつつ進めるため、各回の議題や論点は戦略検討委員会で整理し、提案します。
ここでの議論の内容を取りまとめ、推進会議を経て、柳ケ瀬エリアのビジョンを策定します。

当日のプログラム

第５回ビジョンミーティング　開催概要
日　時：2026年11月4日（水）19：00～21：00
会　場：ウゴクテ
参加者：25名
テーマ：第１部　各要素の基本方針と取組内容の検討
　　第２部　各要素の空間的な取組内容の検討



第１部：各要素の取り組み内容の検討	第２部：コンセプト・キーワードの検討
19：00　前回の振り返り	20：15　議論のポイント２のご説明
19：05　エリアの空間検討の参考（3Dの共有）	20：20　グループ議論２
19：25　グループ議論１	「コンセプト・キーワードの検討」
「各要素の取組内容の確認・検討」	20：30　全体共有
20：00　全体共有	20：45　アドバイザーの方からのコメント

エリアビジョン策定の進め方（予定）

柳ケ瀬エリアのビジョンは以下の流れで広く多様な方々との議論を積み重ね、9月末には骨子を、12月には本編を取りまとめる予定で取り組んでいきます。

第１回 7/15水
＞**エリアビジョンの意義の共有**
・検討の前提についての認識共有
・これまでのビジョンの経緯と概要

第２回 8/19水
＞**ビジョンの構成案の検討**
・エリアとして大切にしたいこと
・柳ケ瀬が目指す姿のイメージ共有

第３回 9/16水
＞**ビジョンの骨子案の検討**
・目指す姿を構成する要素の共有
・各要素のあるべき姿と現状の共有

ビジョン骨子　完成

第４回 10/ 7水
＞**個別テーマの具体的な検討**
・各要素の基本方針の検討
・各要素の取り組み内容の検討

第５回 11/4水
＞**ビジョンの本編案の検討**
・各要素の取り組み内容の検討
・取り組みの仕組みと体制の検討

第６回 12/2水
＞**ビジョンの本編案の検討**
・取り組みの仕組みと体制の検討
・取り組みのステップの検討

ビジョン本編　完成

次回予告
#6 柳ケ瀬エリアプラットフォーム ビジョンミーティング
日　時：2026年12月2日（水）19：00～21：00
会　場：ウゴクテ（柳ケ瀬グラッスル35　3F）
テーマ：取り組みの仕組みと体制、ステップの検討

広域での柳ケ瀬エリアの捉え方・位置づけ

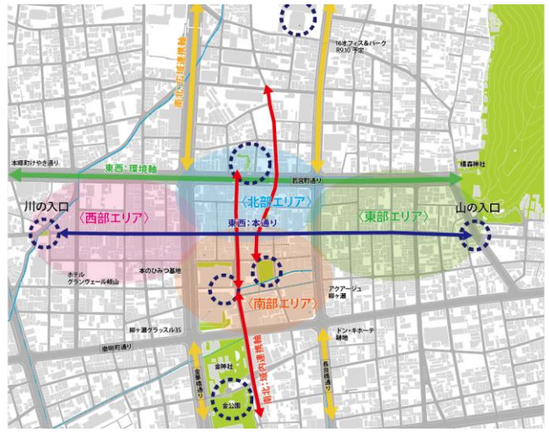
第１部では、これまでのビジョンミーティングでのご意見を踏まえた、エリアと軸を再整理を共有しました。

東部エリア

３つのエリアに美殿町周辺の東部エリアを加え「4つのエリア」としました。東部エリアは、柳ケ瀬でリノベーションによるまちづくりが活発な場所であり、これまでの議論で一体的に考えるべきとの意見が挙がっていました。

域内骨格軸

３つの軸に「域内骨格軸」を加え、「4つの軸」としました。域内骨格軸は、金華山の麓「山の入り口」、西柳ケ瀬の水量豊かな用水「川の入り口」の両者を結ぶエリア内の東西の軸です。





要素の取組内容の検討

第１部では広域での柳ケ瀬エリアの捉え方・位置づけを共有した後、エリアの空間検討の参考として3Dでエリアの空間イメージを共有しました。そのうえで、これまでに整理した6つのテーマごとの基本方針と取組内容について、グループで確認・検討しました。

〈各テーマのグループ議論のトピックとあがった主な取り組みのアイデア〉

多世代の記憶が積み重なる
「子ども・若者・高齢者」の居場所
・**子どもの居場所：**じゃぶじゃぶ池のように、親子で滞在して楽しめる場所
・**中高生の居場所：**中高生が気軽に滞在できる場所をつくり、若い世代を根付かせる

自ら動き、商いに挑む
「空き地・空き店舗」の流動化
・**仕組みづくり：**まち会社が空きビルをサブリースし、改修補助や減税と組み合わせる
・**小さな区画：**土地をまとめた大規模開発ではなく、小さな店が集まる魅力を残す

個性と多様さを受け入れる
「表現活動・夜の活動」の展開
・**夜の魅力：**猥雑さを残しつつ、安心して楽しめる「柳ケ瀬の夜」を改めて描いていく
・**デザインコード：**シャッターアートなどに、まちの雰囲気に合う統一的なガイドライン

人情と顔の見えるつながり
「住まい方・働き方」の多様化
・**生活の利便：**日用品や生鮮食品など、暮らしに必要な店が揃っていることを見える化する
・**頼れる関係：**各エリアに相談できる人がいるなど、何かあった時に頼り合える関係

歩いて巡り、発見できる
「歩行者優先の交通」の実装
・**来やすさ：**駐車場よりも公共交通やシェアサイクルで柳ケ瀬に来やすい環境をつくる
・**自転車：**降りて歩きたくなる仕掛けや外縁の駐輪場整備で、子どもも安心して歩ける

環境と共生する持続可能なエリア
「水と緑の環境」の実現
・**水の多義的活用：**快適性向上やビルの冷却など、地域資源として水を多面的に活かす
・**ごみの管理：**管理体制の整ったごみステーションを設け、まちの環境を保つ

コンセプト・キーワードの検討

第２部では、これまでの議論をもとに作成したキャッチコピー案（A～D案）を共有し、柳ケ瀬のビジョンを表す言葉について議論しました。各案の言葉への評価に加え、誰に向けたメッセージとするか、柳ケ瀬らしさとして込めたい要素や表現のあり方について、多くの意見が交わされました。今後はいただいたご意見を参考に、キャッチコピー案のブラッシュアップを行い、次回のビジョンミーティングでお示しします。









〈グループ議論の中であがった主な意見〉
・**誰に向けた言葉か：**これから訪れる人へのメッセージか、柳ケ瀬の人たちの決意表明か。内と外を分けず、どちらにも響く言葉がよい。
・**変化と歴史：**「変わり続ける」「ここから」といった変化と、積み重ねてきた歴史や世代ごとの思い出を両立させたい。
・**交わりと寛容さ：**世代や昼夜、文化が混ざり合い、誰もが居られる柳ケ瀬らしさを表したい。
・**表現：**ひらがなを基調に「柳ケ瀬」の語を入れ、若い世代にも届く短く印象的な言葉がよい。
・**百人百様：**思い出も感じ方も人それぞれであることこそ柳ケ瀬らしさであり、それ自体を言葉にしてもよい。

主催：柳ケ瀬エリアプラットフォーム
（事務局：岐阜市中心市街地みらい戦略課 058-214-3768）